

- 氏名 : 頗羅墮 弘
○会員番号 : PN0205
○保有資格 : 無 (PE 試験を合格し、現在登録作業中)
○専門分野 : Mechanical: Machine Design and Materials
大型貯蔵タンク的设计・建設等
FE 試験受験 : 2018/11
PE 試験受験 : 2019/10



1. FE 試験 (CBT)

FE 試験対策として問題集 : FE Review Manual (text only) 3rd (Third) edition (著者 M. R. Lindeburg PE) を使用しました。この問題集は非常に良問であり FE 試験の特徴を掴んでいると思います。FE 試験は、非常に広範囲な出題範囲ではあるものの、捻った問題が少なく基本的な問題が多いので上記の問題集を一通り実施すれば合格範囲に達すると思います。勉強時間としては、試験 4 カ月前から平日に約 1 時間程度費やしました。

但し、FE 試験(CBT)は、時間が長い割に問題数が多く、全 110 問、試験時間は 5 時間 20 分 (途中 25 分の休憩含む) であり、体力的に苦しい戦いになりました。試験中には、Reference Book の参照が認められており、Reference Book の“どの部分”に“何の公式”が記載されているか十分に把握しておかないと時間に追われてしまう可能性が高いと感じます。

2. PE 試験

PE 問題集として以下の三種類の図書を使用しました。ネット上にもいろいろ参考意見が書かれており、定番の問題集でしたが、非常に役立ちました。

- ・Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam
- ・Practice Problems for the Mechanical Engineering PE Exam
- ・NCESS 発行の過去問題集

PE 試験は一度不合格になりました。PE 試験は、参考書持ち込み可能な試験であった為に舐めていたのが原因です。ある程度覚えておけば、当日何とかなるという甘さがありました。実際は、80 問 (午前 : 40 問, 午後 : 40 問) の 8 時間の長丁場の試験であり、FE 試験にも増して困難な戦いになりました。PE 問題集に類似した問題が出題され、基本的な良問ですが、解答時間がまったく足りませんでした。1 度 4 時間だけでもよいのでオープンブック形式の自己模擬試験を実施してみるのがよいと思います。

業務で使用する分野は比較的楽ですが、それ以外の分野は再勉強が必要です。二度目については、Reference Manual と Practice Problems を解きこみ、ノートを作成し、参考書にはどこに何が記載されているのか瞬時に開けるように付箋を貼る対策しました。40 歳後半になるとどうしても記憶の衰えは隠せませんので、これをカバーする打ち手が必要でした。勉強時間としては、試験 6 カ月前から平日に約 1 時間程度費やしましたが、一度不合格になったので 1 年かかりました。

以上